

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2020 年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は男女別・10 レーンで行う。
リレー競技は奇数組：奇数レーンのみ、偶数組：偶数レーンのみ使用して競技を行う。
- (3) 全競技タイムレースで行う。各種目最終組は 2020 年度関西学生秋季公認記録会の決勝競技として行う。
決勝競技のスタートリストは、9/16 に当支部ホームページへ掲載したものを確認すること。
- (4) 本競技会では、バックストロークレッジを使用する。
- (5) 選手は次組スタート後(背泳ぎ、リレー種目はゴール後速やかに)、自レーンより退水すること。
但し、各種目最終組の 1 組前は競技成立後、第 1 レーン側への横退水とする(競技役員の指示に従うこと)。
- (6) 各種目最終組の決勝競技では、ゲート入場方式による氏名・所属の紹介を行う。
- (7) プールの水深は、競技開始前を 1.6m、開始後を 2.0m とする。
- (8) 商標については、プログラム掲載の商標規定を遵守すること。
- (9) FINA マークが剥離している水着を着用する場合は、プログラム付属の FINA マーク剥離届を必ず事前に記録室に提出し、審判長の許可をもらうこと。なお提出の際、各々の大学から派遣している学連委員の付き添いが必要である。
- (10) 競技を棄権する場合は、プログラム付属の棄権届出用紙に必要事項を記入し、当該競技予定開始時刻の 1 時間前までに招集所に提出すること。時間内に提出しなかった場合は、棄権料 3,000 円を徴収する。
- (11) リレーオーダー用紙の提出締切時刻は以下の通りとする。締切時刻は一切受け付けない。

| | | |
|------|-------------------|-------|
| 1 日目 | 男女 4×100m フリーリレー | 13:44 |
| 2 日目 | 男女 4×100m メドレーリレー | 13:44 |

- (12) リレー種目はオーダー不正防止のため、招集所で本人確認を行う。学生証のコピーを持参すること。
- (13) エントリー締切日から大会当日までの間に、所属大学から対外試合禁止の通告がなされた場合は、各チームの監督または部長が secretariat@swim-kansai.com へメールでその旨を報告すれば、申込金は請求しない。
- (14) 製本したプログラムは販売しない。9/18 に当支部ホームページへ掲載した PDF データを閲覧すること。
- (15) 当日オープン参加は認めない。
- (16) 公式掲示板は設置しない。競技結果は大会終了後にスイムレコードで確認すること。

2. 会場内コントロールについて

- (1) 本競技会は無観客試合とし、参加者を選手、チーム関係者、マネージャーに分けて AD カードを発行する。
AD カードは当日受付にてチーム単位で配布する。AD カードを申請していない者の入館は一切認めない。
- (2) AD カードは大会期間中常に首から下げて携帯し、貸し借りは絶対に行わないこと。
- (3) 競技開始前のウォーミングアップにおける密集を回避するため、朝の入場は Group A, Group B に分ける。
グループ分けは以下の通りで、2 日間を通して同じとする。なお、Group B の入場開始後も Group A の入場は認めるが、ウォーミングアップは各グループに割り当てられた時間内に限る。
- (4) 更衣室・招集所への入場は選手のみとし、AD カードを用いて入場コントロールを行う。
- (5) チーム関係者、マネージャーは自校の選手が出場する全日程・終日入館を認め、一日単位に AD カードを発行する。なお、更衣室には一切入場できない。
- (6) 出場種目が終了した後は速やかに退館すること。
退館時、AD カードはプラスチックケースから取り出し、受付へ返却すること。
- (7) 正当な理由がない限り、再入館は許可しない。一時退館を希望する場合は受付に申し出ること。

| | | | |
|---------------------------------------|--------|--------|--------|
| Group A [入場開始] 8:20 [W-up] 8:30~9:30 | | | |
| 大阪体育大学 | 関西学院大学 | 大阪教育大学 | 同志社大学 |
| 武庫川女子大学 | 摂南大学 | 大阪国際大学 | 大阪市立大学 |
| 大阪工業大学 | 大阪経済大学 | 兵庫県立大学 | 大阪大学 |
| Group B [入場開始] 8:50 [W-up] 9:40~10:40 | | | |
| 天理大学 | 関西大学 | 立命館大学 | 近畿大学 |
| びわこ成蹊スポーツ大学 | 甲南大学 | 神戸大学 | 四天王寺大学 |
| 大阪府立大学 | 桃山学院大学 | 京都大学 | 甲南女子大学 |
| 和歌山大学 | | | |

3. 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための遵守事項

大会要項から更新している。出場選手の他、当日入館するチーム関係者全員が正確に把握し、行動すること。

3-1. 大会の実施について

- (1) 所属学校が許可しない場合は、大会への参加を認めない。
- (2) マスクまたはフェイスガードは各自持参し、常に着用すること。
- (3) 参加者・関係者等との距離を常に十分確保すること。メガホンなどの応援用具、鳴り物の持ち込みは一切禁止とする。また、声を出しての応援は禁止する。
- (4) 入館前や退館後、館外では大会関係者以外の一般の方々の迷惑とならないよう、十分に配慮すること。入館前は、朝潮橋駅からの連絡通路の出口付近に立ち止まらず、入館待ちの整列場所へ進むこと。退館後はプール正面入口付近、および正面階段に立ち止まらず、速やかに帰宅すること。
- (5) 大会出場のための団体宿泊は行わないこと。
- (6) 大会期間中および終了後の帰宅途中において、懇親会等の食事を伴う会合は控えること。
- (7) 大会期間中に大会が打ち切りとなった場合は、実施済み種目分の申込金のみを徴収する。
- (8) 中止や打ち切りとなった場合でも、発生した交通費や発注した弁当の取消料等の各種費用は当支部で負担しない。
- (9) 大会期間中、大会参加者の感染が発生した場合は、その時点で大会を打ち切る。
- (10) 国や自治体、当支部、施設管理者が定める措置や指示に従わない場合、当該者およびその者が所属する学校の出場を許可しない、または出場停止などの処分を科す場合がある。

3-2. 入館について（基本事項）

- (1) 入館前 14 日間において、以下の事項に該当する者は来場を禁止する。出場選手に該当する者がいた場合は、本稿 1. (13)の手順に従い棄権手続きを行うこと。
 - ① 平熱を超える発熱
 - ② 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ③ だるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）
 - ④ 嗅覚や味覚の異常
 - ⑤ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性の診断を受けた方との濃厚接触がある場合
 - ⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ⑧ 過去 14 日以内に、政府から入国制限・入国後の監察期間を必要とされている国や地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合

3-3. 入館の手順（全員共通）

- (1) マスクまたはフェイスガードを着用し、会場外の指定した場所で間隔を空けて整列する。
- (2) 入館時に健康観察票を回収する。事前にデータ配布する健康観察票を各自印刷、必要事項を記載した状態で持参すること。
- (3) 受付で提出する健康観察票以外の荷物はカバン等にまとめ、消毒を受ける両手を空けておくこと。
- (4) 以下を手順とする。
 - ① 2階受付前でサーモグラフィを用いた体温測定を行う。発熱がなければ受付へ進む。
 - ② 受付係に健康観察票を提出する。
 - ③ 受付係より手指消毒を受ける。
 - ④ マネージャー1名は、チーム全員のADカードを受け取ること。
 - ⑤ 予め指定された観客席に隣どうし1席以上空けて着席し、ウォーミングアップの案内を待つ。

3-4. 競技開始前の選手・付添者動線

- (1) 朝のウォーミングアップ時間の選手動線は以下を手順とする。
 - ① Group Aの選手は、第10レーン側の観客席と受付の間の階段を使用して更衣室へ向かう。飛込プール側の階段の使用は禁止する。
Group Bの選手は、第1レーン側の観客席と受付の間の階段を使用し、メインプール電光掲示板下のプールサイドを経由して更衣室へ向かう。飛込プール側の階段の使用は禁止する。
 - ② 更衣室の入口で、首から下げたADカードを提示する。
 - ③ 更衣後ではロッカーを使用せず、持参したビニール袋に全ての荷物を入れる。
マスクまたはフェイスガードを着用し、更衣室を出る。
 - ④ 荷物を入れたビニール袋をプールサイドの黄色台に置く。
 - ⑤ アップ終了後は、Group A、Group Bともに第10レーン側の階段を通過して観客席へ戻ること。
- (2) ウォーミングアップ開始の案内は、全て場内通告（アナウンス）で案内する。
場内通告による案内があるまでは、観客席で待機すること。
- (3) プールサイドの混雑緩和のため、偶数(2,4,6,8)レーンはスタート側、奇数(1,3,5,7)レーンはターン側からの入水とする。
- (4) ダッシュレーン(原則として9,10レーン)を利用する際は、前後の間隔をあけて整列すること。
- (5) 付添者は選手と同じ階段を使用してプールサイドへ向かうこと。

3-5. 競技開始後の選手動線

- (1) 以下を手順とする。
 - ① 観客席の着席位置によらず、第10レーン側の観客席と受付の間の階段を通過して更衣室へ向かう。
第1レーン側、飛込プール側の階段の使用は禁止する。
 - ② 更衣後ではロッカーを使用せず、持参したビニール袋に全ての荷物を入れる。
マスクまたはフェイスガードを着用し、更衣室を出る。
 - ③ 競技前にウォーミングアップを行う場合は、飛込プールを使用する。
荷物を入れたビニール袋はプールサイドの黄色台に置くこと。
飛込プールはクールダウンと共用につき、入水できるレーンを限定する。
 - ④ 招集所では、首から下げたADカードを提示する。
リレー種目は本人確認のため、学生証のコピーをADカードケースに同封すること。
 - ⑤ キャップなどの商標・FINAマークの確認を行い、手指消毒を受けて招集所へ入場する。
 - ⑥ 招集員の指示でレーンに入る。
 - ⑦ レーン入場後、それまで着用していた衣服、マスクまたはフェイスガード、ADカードを全てビニール袋の中に入れ、袋ごとスタート台後面のアルミ椅子に置く。なお、マスクを使用する者は衣服のポケットにマスクを入れること。

- リレー種目の場合、レーン入場後もオーダー紹介が始まるまではマスクまたはフェイスガードを外さないこと。
- ⑧ レース終了後は、呼吸が整った時点でマスクまたはフェイスガードを着用すること。
 - ⑨ 競技後にクールダウンを行う場合は、飛込プールを使用する。
荷物を入れたビニール袋はプールサイドの黄色台に置くこと。
飛込プールはウォーミングアップと共用につき、入水できるレーンを限定する。
 - ⑩ 更衣を済ませ、出場前の動線を逆方向に観客席へ戻る。飛込プール側の階段の使用は禁止する。
- (2) 出場種目の1時間前を目途に、更衣室・飛込プール・招集所エリアへの入場を許可する。
更衣室へ向かう階段でADコントロールを行うので、場内通告による案内があるまでは、観客席で待機すること。なお、更衣室や飛込プールが混雑している場合は案内時刻を変更する。
 - (3) 昼休み、リレー競技前の休憩時間でのウォーミングアップは、当日それ以降の種目に出場する選手に限り許可する。
 - (4) リレー種目に出場する選手は、リレーオーダー用紙の提出と引き換えに配布する専用ステッカーをADカード(ケースではなく台紙)の余白部分に貼り付けておくこと。

3-6. 退館について

- (1) 出場種目が全て終了し、チーム全員が退館する際、代表者1名(参加団体誓約書に記載の学生責任者(男女両方出場の大学は男女どちらかの責任者))は、次亜塩素酸水のスプレー容器を受付まで取りに行く。スプレーは使用した観客席に吹き掛ける(自然乾燥にて消毒完了とするので拭き取りは不要)。ゴミがあれば持ち帰る。スプレー容器は退館時に受付に返却する。
- (2) 退館後、館外では大会関係者以外の一般の方々の迷惑とならないよう、十分に配慮すること。
退館後はプール正面入口付近、および正面階段に立ち止まらず、速やかに帰宅すること。

3-7. その他

- (1) 館内の控え場所は、参加校ごとに割り当てた観客席のみとする。
座席周囲や上段の通路、電光掲示板裏ロビーなど、観客席以外の場所を使用することは禁止する。
- (2) 観客席下のエントランスホールは場所取りを禁止するが、ホールの空間を考慮した区画分けを行い、同時に使用できる人数を制限した上でストレッチスペースとして開放する。
 - ① 1区画につき、同時に使用できるのは1人とする。譲り合って使用すること。
 - ② マットなどの用具は使用する選手自身が持参し、終了したら全て持ち帰ること。
 - ③ マットを常設することや、チーム内での道具の使い回しは禁止する。
 - ④ 指示に従わない場合、当該チームの使用を禁ずる、または開放を全面中止する。
- (3) 館内の移動については、プールサイドを含めインシューズの使用を許可する。
- (4) 更衣室に荷物を置いたままウォーミングアップやレースに参加することは認めない。荷物を入れるビニール袋を必ず持参し、プールサイドに設ける黄色台、アルミ椅子を荷物置場として使用すること。
ただし、荷物台は次亜塩素酸を用いて定期的に消毒するため、チームウェアなど自身の荷物を管理するためのビニール袋を持参すること。自身の荷物に色落ちなどが生じても当支部は責任を負わない。
- (5) ウォーミングアップ・クールダウンにおいて、フィン、パドル、プルブイ、シュノーケル等の道具の使用は認めない。
- (6) 貴重品は個人またはチームで厳重に管理すること。会場内で盗難が発生した場合にも当支部は責任を負わない。
- (7) 会場内にゴミ箱は設置しない。ゴミは各自で管理し、必ず持ち帰ること。
- (8) 競技終了後14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性と診断された場合は、
secretariat@swim-kansai.com へ速やかに報告すること。

4. アンチドーピング講習について

(1) 期間中、電光掲示板を使用して、アンチドーピング講習(約 30 分)を行う。

1 日に 3 回、2 日間で計 6 回行うので、自身の出場スケジュールにあわせて聴講すること。

- ① 9:05～ 9:35 Group B 開門後、ウォーミングアップ待ち時間
- ② 9:50～10:20 Group A ウォーミングアップ終了後(Group B ウォーミングアップ中)
- ③ 昼休み

以上